

2014年4月23日

株式会社陽進堂

ルピンリミテッド

株式会社陽進堂とルピンリミテッドによるバイオ後続品に関する 合弁会社設立契約締結について

株式会社陽進堂（社長：下村健三、本社：富山県富山市、以下「㈱陽進堂」）とインドの製薬会社であるルピンリミテッド（会長：デシュ・バンドゥ・グプタ、本社：ムンバイ（インド）、以下「ルピンリミテッド」）は、合弁会社 YLバイオロジクス（YL Biologics）を設立することに合意し、契約を締結致しましたのでお知らせします。

1. 合弁会社設立の背景及び目的

近年、モノクローナル抗体をはじめとするバイオ医薬品は、関節リウマチやがんの治療などに使用され、医薬品市場における伸びが著しくなっています。しかし、バイオ医薬品は通常、低分子医薬品に比べ高価であるため、バイオ後続品による医療費の低減が期待されています。㈱陽進堂とルピンリミテッドは、日本国内におけるバイオ後続品の臨床開発を目的として合弁会社を設立し、こうした医療ニーズに応えていきます。最初の品目として関節リウマチ治療剤エンブレル®（一般名：エタネルセプト）のバイオ後続品をルピンリミテッドから導入し、本邦での臨床開発・承認取得、上市を目指します。

㈱陽進堂は原薬から最終製品までの一貫した研究開発・製造・販売体制を確立することにより、高品質なジェネリック医薬品を提供してきました。最近では更なる社会貢献を目指して、大阪大学との共同研究講座開設、バイオ医薬品の受託製造等、バイオ関連技術の蓄積を図り“無くてはならない製薬企業”への発展に向けた取り組みを強化しています。

ルピンリミテッドはイノベーション追求型の多国籍企業として自社およびジェネリック医薬品および原薬の製造・開発を手掛けており、広範囲な領域に加え、抗結核薬とセファロスポリン領域に強みを有しております。またルピンリミテッドは米国では規模および成長性においてジェネリック医薬品市場で第五位にあり、インドでは売上規模で第三位の製薬企業です。

両社は今回の提携を契機としてシナジーを追求し、日本の医薬品市場において確固たる存在を示すことによって、それぞれの事業の発展を目指していきます。

2. 合弁会社設立に関する契約内容

- (1) 契約締結日：2014年4月23日
- (2) 合弁会社名：YLバイオロジクス株式会社
- (3) 資本金：3億円
- (4) 資本構成：㈱陽進堂 55%、ルピンリミテッド 45%
- (5) 本社所在地：東京都中央区
- (6) 代表者：代表取締役社長 下村 健三
- (7) 取締役：6名（㈱陽進堂より3名、ルピンリミテッドより3名）
- (8) 事業内容：バイオ医薬品の開発及び製造販売及び関連業務

参考資料

■(株)陽進堂の概況

代表者：代表取締役社長 下村 健三

所在地：富山県富山市婦中町菟島3697-8

設立：1962年（創業：1929年）

売上高：187億円（2012年度）

従業員数：約500名

事業内容：医薬品原料及び医療用医薬品の研究開発・製造・販売

■ルピンリミテッドの概況

代表者：代表取締役会長 デシュ・バンドゥ・グプタ

所在地：159, C.S.T. Road, Kalina, Santacruz (East) Mumbai 400 098, India

設立：1968年

売上高：94,616百万ルピー（2012年度）

従業員数：約12,000名

事業内容：医薬品原料及び医療用医薬品の研究開発・製造・販売

本件に関するお問い合わせ

株式会社陽進堂
経営企画部

Tel : 076-465-7777

Fax : 076-465-7780

Mr. Shamsher Gorawara,
Head Corporate Communications
Lupin Limited

Tel : +91 98 20338555

Fax : +91 22 26526867